

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	基礎デザイン実習 A	
科目基礎情報					
開設学科	インテリアデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時限
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	課題ごとに資料を用意する				
担当教員情報					
担当教員	藤田祐子・しんばけいこ		実務経験の有無・職種	有・イラストレーター	
学習目的					
たとえデジタル環境に従事するデザイナーであろうとも、情報を伝達する為に考えをビジュアルに置き換える能力は必要である。デザイナーとして必要な描画力を身につけるものをねらいとしている。なお、ここで言う描画には観察と作図、色彩計画を含める。					
到達目標					
描く、表現するということに対して、抵抗感を持たないことが一つの大きな目標である。デッサンでは目の前にある対象物を観察したものを紙に描きだせることを目標にする。色彩に関する基本要素（色相、彩度、明度）の理解を実習を通して身に付け、思い描く狙いにあった色彩計画が立てられるようになる。					
教育方法等					
授業概要	鉛筆や、絵具、筆などを使った課題制作が中心となる。授業の初めに、各課題に関する講義が入る。これにより、何をどのように描けば良いかを理解してから課題制作に生かすことができる。課題提出後には、作品講評会が開かれ、他者の作品を通して自身の作品レベルを測ることができる。また、他者の作品を見ることで得られる気づきを期待している。				
	講義～制作～講評が本授業の骨組みである。				
注意点	課題制作が中心である。さわめて高い集中力を要する作業が多いため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。限られた期日までに制作物を提出すること。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	80%	提出された課題を総合的に評価する		
	平常点	20%	授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション		基本的な描画材である紙と鉛筆の扱いができるようになる		
2回	描画（1）「手」		手の骨格や筋肉、皮膚の表情を観察して、デッサンすることが出来る		
3回	描画（2）「球体」		球体モチーフを通して、塊を掴むことが出来る		
4回	描画（3）「玉ねぎ」		球体モチーフの応用として玉ねぎを描く。素材感を意識して描くことが出来る		
5回	描画（4）「直方体」		ティッシュ箱などの直方体モチーフを通して、パースを意識した描画が出来る		
6回	描画（5）「コップと布」		工業製品と布を、そのかたちに関わることなくパースを意識して描画が出来る		
7回	描画（6）「組モチーフ①」		複数のモチーフを、モチーフの持つ特徴を観察して同一空間上にあるものとして描くことが出来る		
8回	描画（7）「組モチーフ②」		複数のモチーフを、モチーフの持つ特徴を観察して同一空間上にあるものとして描くことが出来る		
9回	色彩（1）「明度・色相」		色彩の持つ要素のひとつである「明度」を理解し、描き分けが出来る		
10回	色彩（2）「彩度」		色彩の持つ要素「彩度」を理解し、色彩計画に落とし込むことが出来る		
11回	色彩（3）「色彩計画①」		与えられた文字のイメージから、レイアウトと色彩計画を立てることが出来る		
12回	色彩（4）「色彩計画②」		自身でプランニングした色彩空間を、描画材で表現することが出来る		
13回	まとめ課題①		与えられた課題条件を守り、テーマに沿った自由表現の為の構成を作る		
14回	まとめ課題②		自身で作成したレイアウト計画に沿って、色彩計画をたてる		
15回	まとめ課題③		自身の計画に沿って描画・着彩し、作品を完成させる		